

# 海洋資源グループ



▲漁業調査船「海幸丸」



▲漁獲物測定（シャコ）



▲プランクトンネット調査



▲CTD 調査



▲イカナゴ親魚調査



▲底びき網漁獲調査



▲イカナゴ体長測定



▲ヤリイカ産卵床



▲市場での漁獲物調査（マダイ）



▲漁業者協議会での資源管理指導

# 栽培漁業グループ

## 「アサリなど主要二枚貝の増殖に関する研究」



▲アサリ資源量、生育環境等の調査



▲移植等による増殖手法の検証



▲アサリ病害調査  
(カイヤドリウミグモ等)

## 「栽培漁業対象種の増殖に関する研究」



▲漁獲物調査  
(クルマエビ放流効果の検証)



▲漁獲物調査  
(トラフグ放流効果の検証)

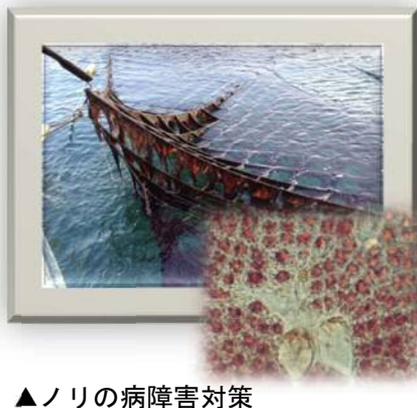


▲放流適地の調査  
(ヨシエビ稚エビの生息域調査)

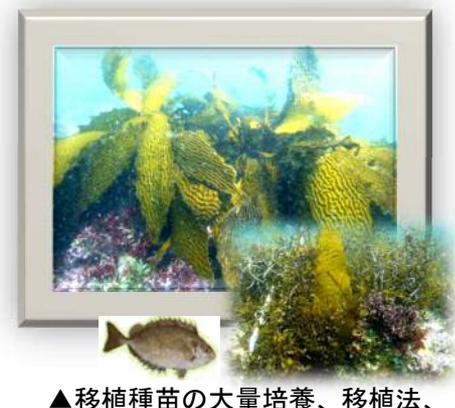
## 「ノリ養殖の振興に関する研究」



▲ノリ優良品種の開発  
(温暖化対応、品種登録)



▲ノリの病障害対策  
(診断法、軽減手法の開発)



▲移植種苗の大量培養、移植法、  
食害防御法の開発

## 内水面養殖グループ



▲ホルモンにより完熟させた雌ウナギ



▲飼育試験でのシラスウナギの計測



▲ウナギの放流試験



▲汲み上げ放流用アユの調査



▲河川での付着藻類調査



▲アユのカワウ対策試験

# 冷水魚養殖グループ



▲マス類養殖に関する研究



▲奥三河地域のブランド魚「絹姫サーモン」



▲絹姫サーモンの稚魚

▲絹姫サーモン卵の温度処理(三倍体化)

## ▼豊川でのアユ漁獲調査▼



アユの流下仔魚

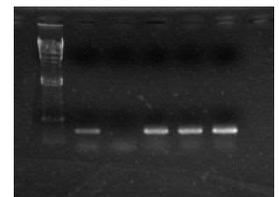
▲豊川でのアユ流下仔魚調査▲



▲希少淡水魚の増殖研究(ネコギギ)



▲魚病診断



▲PCR による冷水病  
確定診断

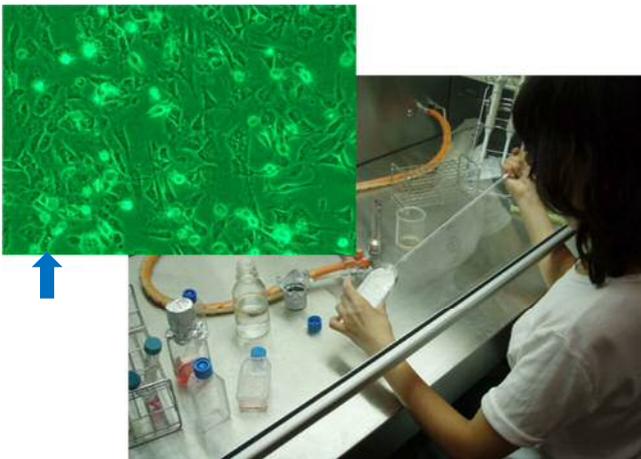
# 観賞魚養殖グループ



▲雌性発生により作出したクローンキンギョ



▲交配により開発された新品種（アルビノリュウキン）



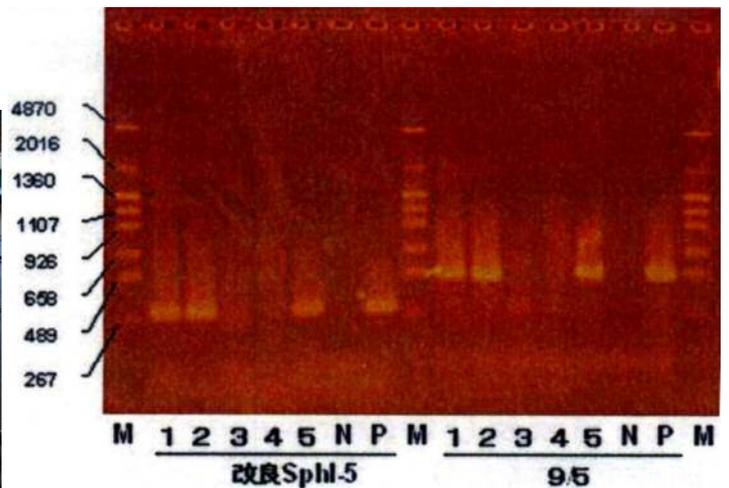
▲キンギョヘルペスウイルス培養に適した初代培養細胞（ARF細胞：矢印）と培養作業



▲キンギョヘルペスウイルスワクチンの接種試験



▲生産者による病魚の持ち込みと魚病診断



▲電気泳動によるコイヘルペスウイルス検査

## はじめに

愛知県水産試験場が、全国の都道府県に先駆けて明治 27 年 5 月に幡豆郡一色町（現西尾市一色町）に設置されてから 120 年の歳月が経過しましたのでこれを記念し、また一つの区切りとする意味で本誌を発刊することになりました。

この間、社会情勢の変化に伴い、水産試験場の機構や試験研究の内容も大きく変化してきましたが、関係各位の御理解、御協力によりその時々々のニーズに応えるべく本県水産業の発展の拠点としての役割を果たしてまいりました。

しかし、本県水産業をとりまく情勢は、伊勢湾、三河湾における貧酸素水塊の発生や干潟・浅場、藻場の消失による漁場生産力の低下、水産資源の減少、魚価の低迷など大変厳しい状況となっています。水産試験場としては、これらの状況を打破するために、「愛知県農林水産業の試験研究基本計画 2015」に基づき、内湾漁場環境の回復や水産資源の持続的利用、新たな生産技術等に関する試験研究を進めているところであります。

平成 6 年に「愛知県水産試験場創立百周年記念誌」が刊行されておりますので、本誌は平成 6 年以降の水産に関する試験研究の取組状況や成果についてとりまとめましたが、今後の試験研究に役立ち、本県水産振興の参考としてご活用いただければ幸いです。

平成 27 年 1 月

愛知県水産試験場長 井野川 仲男



# 目 次

## 第 I 部 試験研究のあゆみ（創立101～120年）

### 第 1 章 海面漁業に関する試験研究

- 1 漁業（漁法）に関する試験研究……………1
- 2 漁況海況予報調査……………2
- 3 資源調査と資源管理（資源管理型漁業）……………3

### 第 2 章 海面養殖に関する試験研究

- 1 ノリ養殖……………9
- 2 ワカメ養殖……………10

### 第 3 章 栽培漁業に関する試験研究

- 1 クルマエビ……………11
- 2 ヨシエビ……………12
- 3 トラフグ……………13
- 4 ミルクイ……………14
- 5 アサリ……………15
- 6 トリガイ……………16

### 第 4 章 漁場造成・改善技術に関する試験研究

- 1 漁場改善研究室の誕生……………18
- 2 干潟・浅場の機能把握……………18
- 3 漁場造成技術の開発……………19
- 4 漁場改善技術の開発……………21
- 5 干潟・浅場の造成効果と評価モデルの開発……………22
- 6 貧酸素水塊対策手法の検討……………23
- 7 アサリ漁場造成技術の開発……………24
- 8 サガラメ藻場造成技術の開発……………25

### 第 5 章 内水面養殖に関する試験研究

- 1 ウナギ……………27
- 2 アユ……………29
- 3 キンギョ……………31
- 4 ニシキゴイ……………34
- 5 マス類……………35
- 6 ネコギキ……………37

第6章	漁場環境に関する試験研究	
1	水質汚濁調査研究	39
2	赤潮の調査研究	40
3	貧酸素水塊, 苦潮の調査研究	41
4	ノリ色落ちに関する調査研究	42
5	貝毒関係の調査研究	43
6	その他の漁場環境の保全等に関する調査研究	44
第7章	普及指導事業	
1	普及事業の移り変わり	45
2	愛知県水産業改良普及事業実施方針の概要	46
3	普及活動と実績	47
第8章	企画事業	
1	愛知県農林水産業の試験研究基本計画（試験研究推進構想）	51
2	試験研究の理解促進	52
3	研究評価委員会	53
第9章	知的財産	
1	特許	54
2	品種登録	55
第Ⅱ部	水産試験場試験研究の取組方向	
	～愛知県農林水産業の試験研究基本計画2015～ 水産業部門	
第1章	概要	57
第2章	水産業の現状と課題	57
第3章	研究の現状と今後の課題	58
第4章	重点研究目標と研究事項	
1	豊かな漁業資源を育む内湾漁場環境の回復	60
2	水産資源の持続的利用による水産物の安定供給	61
3	生産技術の革新による競争力ある経営体の育成	63
4	ブランド力強化による水産業の展開	64
第5章	研究推進のための方策	65

## 第Ⅲ部 調査船

第1章 調査船の変遷	66
------------	----

### 第2章 調査船と作業船の性能・業績

1 作業船「ちた」(三代目)	67
2 水質調査船「しらなみ」(二代目)	67
3 漁業調査船「海幸丸」(六代目)	68
4 作業船「はつかぜ」(四代目)	69
5 作業船「ちた」(四代目)	69
6 漁業取締・水質調査兼用船「へいわ」	69

## 第Ⅳ部 施設の整備

第1章 本場の整備	71
-----------	----

第2章 漁業取締・水質調査兼用船「へいわ」	74
-----------------------	----

第3章 三河湾海況自動観測ブイの更新	76
--------------------	----

## 第Ⅴ部 資料編

1 組織機構(平成26年度)	78
2 予算(平成26年度)	79
3 施設	
(1) 本場	79
(2) 漁業生産研究所	80
(3) 内水面漁業研究所	80
4 研究業績	
(1) 年表	82
(2) 研究業績取扱内規	103
(3) 試験研究報告等	105